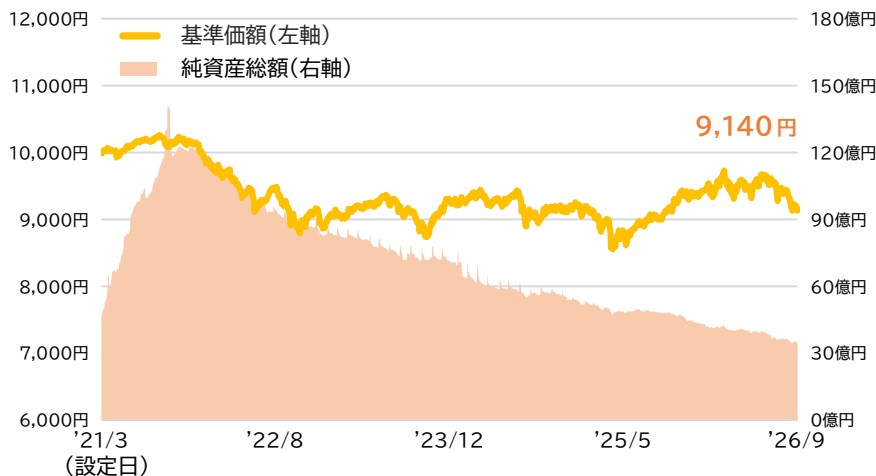


月次運用レポート

まるごとひふみ15 運用実績

■ 基準価額等の推移



■ 運用成績

まるごとひふみ15	
1カ月	-3.07%
3カ月	-5.27%
6カ月	-2.07%
1年	-0.53%
3年	2.21%
5年	-9.84%
10年	-
設定来	-8.60%

■ まるごとひふみ15の運用状況

基準価額	9,140円
純資産総額	34.53億円

■ まるごとひふみ15投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	84.78%
ひふみ投信マザーファンド	9.10%
ひふみワールドファンド*	5.93%
現金等	0.19%
合計	100.00%

■ 分配の推移

(1万口当たり、税引前)

第5期	2026年4月	0円
第4期	2025年4月	0円
第3期	2024年4月	0円
第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
設定来合計		0円

※「まるごとひふみ」は、「まるごとひふみ15」「まるごとひふみ50」「まるごとひふみ100」の3ファンドの総称です。

※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額(10,000円)を起点として算出しております。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ひふみワールドファンド」は正式名称を「ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)」といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額(月次)と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

※「まるごとひふみ15」は複数の投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本的組入比率:「ひふみグローバル債券マザーファンド」85%、「ひふみ投信マザーファンド」9%、「ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)」6%を維持することを目指して運用を行ないます。(市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります)各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考:マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

■ 基準価額の変動要因

基準価額変動額(月次) -289円

〔組み入れファンド別変動要因内訳〕

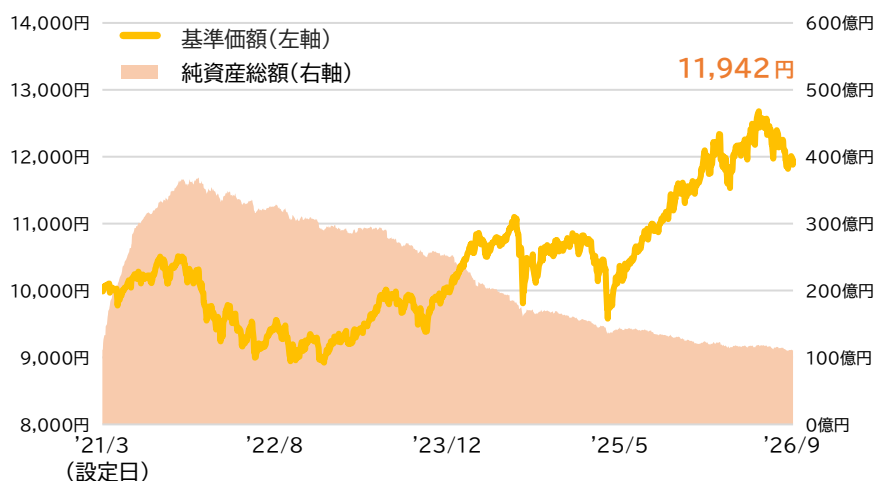
ひふみグローバル債券マザーファンド	-261円
ひふみ投信マザーファンド	-10円
ひふみワールドファンド*	-13円
信託報酬・その他	-5円

〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕

債券	-136円
株式・投資証券	-12円
為替	-145円
信託報酬・その他	+3円

まるごとひふみ50 運用実績

■ 基準価額等の推移



■ 運用成績

まるごとひふみ50	
1ヵ月	-2.53%
3ヵ月	-4.76%
6ヵ月	3.57%
1年	6.85%
3年	23.27%
5年	16.11%
10年	-
設定来	19.42%

■ まるごとひふみ50の運用状況

基準価額	11,942円
純資産総額	110.52億円

■ まるごとひふみ50投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	49.55%
ひふみ投信マザーファンド	30.35%
ひふみワールドファンド*	19.98%
現金等	0.12%
合計	100.00%

■ 分配の推移

(1万口当たり、税引前)

第5期	2026年4月	0円
第4期	2025年4月	0円
第3期	2024年4月	0円
第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
設定来合計		0円

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「まるごとひふみ50」は複数の投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本的組入比率:「ひふみグローバル債券マザーファンド」50%、「ひふみ投信マザーファンド」30%、「ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)」20%を維持することを旨として運用を行ないます。(市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります)各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考:マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

■ 基準価額の変動要因

基準価額変動額(月次) -310円

〔組み入れファンド別変動要因内訳〕

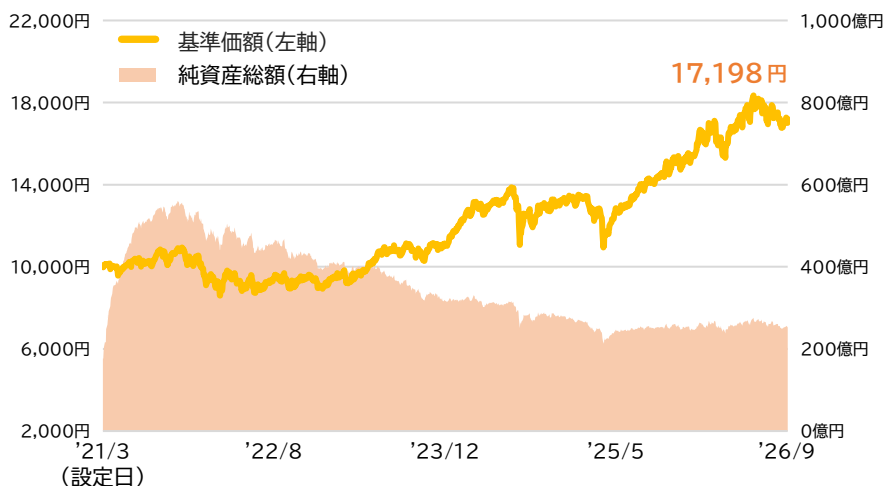
ひふみグローバル債券マザーファンド	-199円
ひふみ投信マザーファンド	-43円
ひふみワールドファンド*	-58円
信託報酬・その他	-10円

〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕

債券	-104円
株式・投資証券	-51円
為替	-152円
信託報酬・その他	-3円

まるごとひふみ100 運用実績

基準価額等の推移



運用成績

まるごとひふみ100	
1ヵ月	-1.77%
3ヵ月	-4.02%
6ヵ月	12.37%
1年	18.14%
3年	59.63%
5年	64.23%
10年	-
設定来	71.98%

まるごとひふみ100の運用状況

基準価額	17,198円
純資産総額	254.71億円

まるごとひふみ100投資信託財産の構成

ひふみ投信マザーファンド	59.97%
ひふみワールドファンド*	39.88%
現金等	0.15%
合計	100.00%

分配の推移

(1万口当たり、税引前)

第5期	2026年4月	0円
第4期	2025年4月	0円
第3期	2024年4月	0円
第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
設定来合計		0円

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「まるごとひふみ100」は複数の投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて実質的に株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本的組入比率:「ひふみ投信マザーファンド」60%、「ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)」40%を維持することを目指して運用を行ないます。(市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります)各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考:マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

基準価額の変動要因

基準価額変動額(月次)	-310円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみ投信マザーファンド	-124円
ひふみワールドファンド*	-167円
信託報酬・その他	-18円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
株式・投資証券	-147円
為替	-145円
信託報酬・その他	-18円

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

■ ひふみグローバル債券マザーファンドの状況

純資産総額	100.09億円
組み入れ銘柄数	26銘柄

■ 種別比率

国債	70.11%
社債	10.48%
住宅ローン担保証券	9.02%
地方債	5.40%
特殊債	3.71%
国際機関債	0.47%
債券先物取引	-17.42%
現金等	18.23%
合計	100.00%

■ 資産別比率

海外債券	63.48%
国内債券	35.71%
債券先物取引	-17.42%
現金等	18.23%
合計	100.00%

■ 格付比率

AAA	3.13%
AA	40.40%
A	50.65%
BBB	5.00%
BB以下	-

■ 組み入れ上位5カ国 比率

1 日本	40.97%
2 アメリカ	26.52%
3 フランス	7.47%
4 スペイン	5.97%
5 オーストラリア	5.40%

■ 組み入れ上位5通貨 比率

1 日本円	35.71%
2 米ドル	31.78%
3 ユーロ	17.49%
4 オーストラリア・ドル	5.40%
5 中国元	3.71%

■ ポートフォリオ特性値

最終利回り	4.45%
デュレーション	6.3

■ 為替ヘッジ比率

0.00%

■ 組み入れ上位10銘柄 比率

銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率
1 日本国債(30年)	国債	日本	日本円	2052/12/20	11.87%
2 米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	アメリカ	米ドル	2056/2/20	9.02%
3 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	8.59%
4 三井住友フィナンシャルグループ	社債	日本	米ドル	2027/1/14	7.87%
5 日本国債(40年)	国債	日本	日本円	2063/3/20	7.51%
6 日本国債(20年)	国債	日本	日本円	2042/12/20	6.51%
7 フランス国債	国債	フランス	ユーロ	2034/11/25	5.90%
8 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/8/15	4.38%
9 中国国家開発銀行	特殊債	中国	中国元	2029/5/21	3.71%
10 イギリス国債	国債	イギリス	イギリス・ポンド	2043/10/22	3.67%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等(現金等を含む)の各特性値(最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。(Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成)

最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。

デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」「資産別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」は、現物資産について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、外貨建資産の時価総額に対する為替予約評価額の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

■ ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	11,065.48億円
組み入れ銘柄数	75銘柄

■ 資産配分比率

国内株式	97.85%
海外株式	-
現金等	2.15%
合計	100.00%

■ 市場別比率

プライム市場	96.98%
スタンダード市場	0.87%
グロース市場	-
その他海外株	-
現金等	2.15%
合計	100.00%

■ 組み入れ上位10業種 比率

1	電気機器	17.05%
2	卸売業	13.77%
3	銀行業	12.42%
4	機械	9.20%
5	情報・通信業	8.02%
6	輸送用機器	6.80%
7	保険業	5.61%
8	建設業	4.12%
9	不動産業	3.23%
10	非鉄金属	2.96%

■ 組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	伊藤忠商事	8001	大型	プライム市場	卸売業	6.55%
2	みずほフィナンシャルグループ	8411	大型	プライム市場	銀行業	4.83%
3	丸紅	8002	大型	プライム市場	卸売業	4.03%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	大型	プライム市場	銀行業	3.94%
5	東京海上ホールディングス	8766	大型	プライム市場	保険業	3.40%
6	三菱地所	8802	大型	プライム市場	不動産業	3.23%
7	三井物産	8031	大型	プライム市場	卸売業	3.20%
8	ソニーグループ	6758	大型	プライム市場	電気機器	2.98%
9	住友電気工業	5802	大型	プライム市場	非鉄金属	2.96%
10	川崎重工業	7012	大型	プライム市場	輸送用機器	2.79%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型(3,000億円以上)

中小型(300億円以上、3,000億円未満)

超小型(300億円未満)

ひふみワールドファンド* 運用状況

■ 純資産総額

127.22億円

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

■ 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	100.18%
現金等	-0.18%
合計	100.00%

ひふみワールドマザーファンド 運用状況

■ ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額	3,447.29億円
組み入れ銘柄数	116銘柄

■ 資産配分比率

海外株式	96.54%
海外投資証券	0.70%
現金等	2.77%
合計	100.00%

■ 組み入れ上位10カ国 比率

1	アメリカ	67.63%
2	イギリス	5.72%
3	台湾	5.38%
4	イタリア	3.08%
5	オランダ	2.71%
6	ドイツ	2.24%
7	フランス	2.23%
8	アイルランド	1.19%
9	アルゼンチン	0.92%
10	カナダ	0.85%

■ 組み入れ上位10業種 比率

1	半導体・半導体製造装置	15.95%
2	資本財	9.34%
3	ソフトウェア・サービス	8.68%
4	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.41%
5	金融サービス	7.20%
6	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.96%
7	メディア・娯楽	6.58%
8	銀行	5.64%
9	エネルギー	4.86%
10	自動車・自動車部品	4.44%

■ 組み入れ上位10通貨 比率

1	米ドル	76.90%
2	ユーロ	7.71%
3	台湾ドル	5.38%
4	イギリス・ポンド	4.13%
5	カナダ・ドル	0.85%
6	デンマーク・クローネ	0.70%
7	オーストラリア・ドル	0.67%
8	スウェーデン・クローナ	0.49%
9	スイス・フラン	0.42%
10	-	-

■ 組み入れ上位10銘柄 比率

銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1 ADVANCED MICRO DEVICES, INC	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	2.77%
2 FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	2.75%
3 MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.67%
4 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	台湾	台湾ドル	半導体・半導体製造装置	2.65%
5 INTEL CORPORATION	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	2.12%
6 NVIDIA CORPORATION	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	2.07%
7 BANK OF AMERICA CORPORATION	アメリカ	米ドル	銀行	2.01%
8 ELI LILLY AND COMPANY	アメリカ	米ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.89%
9 APPLE INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.80%
10 BJ'S WHOLESALE CLUB HOLDINGS, INC	アメリカ	米ドル	生活必需品流通・小売り	1.74%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT(不動産投資信託)等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS(世界産業分類基準)の産業グループ分類に準じて表示しております。

ご参考:マザーファンド基準価額の推移と運用成績

期間:2021年3月30日~2026年9月30日

■ ひふみグローバル債券マザーファンド 基準価額の推移



■ 運用成績

ひふみグローバル債券マザーファンド	
1ヵ月	-3.26%
3ヵ月	-5.39%
6ヵ月	-4.21%
1年	-3.11%
3年	-4.38%
5年	-17.42%
10年	-
まるごとひふみ設定来	-16.55%

■ ひふみ投信マザーファンド 基準価額の推移



■ 運用成績

ひふみ投信マザーファンド	
1ヵ月	-1.19%
3ヵ月	-4.04%
6ヵ月	8.28%
1年	21.64%
3年	57.83%
5年	58.00%
10年	-
まるごとひふみ設定来	63.07%

■ ひふみワールドマザーファンド 基準価額の推移



■ 運用成績

ひふみワールドマザーファンド	
1ヵ月	-2.38%
3ヵ月	-3.23%
6ヵ月	20.74%
1年	16.48%
3年	76.90%
5年	102.09%
10年	-
まるごとひふみ設定来	121.39%

※「まるごとひふみ」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「まるごとひふみ」の当初設定日の前営業日(2021年3月29日)を10,000として指数化して作成しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「まるごとひふみ設定来」は、「まるごとひふみ」の設定日の前営業日(2021年3月29日)('ひふみグローバル債券マザーファンド'は当初設定時)を起点として算出しております。

※「まるごとひふみ100」は、「ひふみグローバル債券マザーファンド」は組み入れていません。

※「まるごとひふみ」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れてあります。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

運用責任者よりお客様へ：まるごとひふみ

各投資対象ファンドについて、先月の投資環境や投資行動、今後に向けて議論していたことなどをお伝えします。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

米国の長期金利は大きく上昇しました。8月下旬のジャクソンホール会合にて、ウォーシュFRB(連邦準備制度理事会)議長の講演がタカ派(金融引締派)的な内容であったことから、早期利上げ観測が高まりました。実際、9月のFOMC(連邦公開市場委員会)では3年2ヵ月ぶりの利上げが決定されました。雇用統計やPMI(購買担当者景気指数)なども米国景気の強さを示したほか、注目の物価指標でもコアCPI(消費者物価指数)が予想を上回るなど、インフレ警戒感は継続しました。加えて、米財政拡張への懸念も根強く、債券売りが加速しました。米国10年金利は月末には一時5.30%と、2007年6月以来およそ19年ぶりの高水準をつける場面もありました。また、為替の円高方向への動きも、基準価額の下押し要因となりました。

日本の長期金利も上昇しました。米国の長期金利上昇に連れ高(債券価格は連れ安)したほか、ベッセント米財務長官の日本銀行へ利上げを催促するような発言や、高市政権のリフレ的な姿勢による財政懸念などが材料視されました。9月の日銀金融政策決定会合では大方の予想通り0.25%の利上げが決定されました。10年金利は一時3.10%を上回る場面があるなど、1996年9月以来およそ30年ぶりの高水準を記録しました。

【ひふみ投信マザーファンド】

9月の日本株は下落しました。世界的な金利上昇と、中東情勢の悪化を受けた原油高で、景気や企業業績が下振れすることが懸念され、投資家がリスク回避姿勢を強めました。AI関連については、月前半は、米国OpenAIが2026年内の上場を見送るとの報道や、AIの開発ペースを緩める必要があるといったAI企業経営者の意見が伝わり、AI関連の急成長期待が後退する場面がありました。他方、月後半には、日米ともに金利が高止まりするなかでも高い収益成長は続くとの期待から、米国でもハイテク株高となるなど、日本のAI半導体関連にも買いが集まりました。

【ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)】

9月の米国株式相場は跛行色がみられ、ハイテク関連は上昇した一方、不動産関連や消費関連などは下落しました。当ファンドでは、アナリストの推奨に基づく個別銘柄の入れ替えを中心に行ないました。割安感の出ているソフトウェア銘柄や、長期金利上昇への対応として保険株などを買いしました。他方、想定以上に速い金利上昇をふまえ、住宅関連株を売却したほか、企業の新規設備投資が抑制されて貸出が伸び悩む可能性やAI関連企業の資金調達が後ずれる可能性を鑑み、銀行セクターをアンダーウェイトにしています。

引き続き、株式・債券チーム一丸となって、全力で運用してまいります。

(10月1日)



まるごとひふみ
運用責任者
橋本 裕一

※TOPIXは、すべてTOPIX(配当込み)を用いています。TOPIX(配当込み)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社JPX総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅すると共に、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

運用責任者よりお客様へ：ひふみグローバル債券マザーファンド

9月の米国長期金利は大幅上昇となりました。注目されていた物価指標が強かったこともあり、ウォーシュFRB(連邦準備制度理事会)議長はFOMC(連邦公開市場委員会)において0.25%の利上げに踏み切りました。議長としての信認を回復するための利上げという面が否めないものの、1回の利上げで終了ということは考えにくく、月末時点では今後さらに3.5~4回(1回あたり0.25%として)の利上げが織り込まれています。一方、大規模な社債発行が継続している長期債に対しても地合いの改善には至りませんでした。また、米国財務省による超長期債買入れの効果も限定的でした。今後のシナリオとしては、トランプ大統領からの圧力もあり利上げ幅はあと1~2回程度におさまリ、長期金利は米国政府および社債発行体が発行年限の短期化を進めることで落ち着きを取り戻す、それによりAIビジネスやその他の実体経済共に大きな悪影響は生じないといった楽観的なシナリオを想定しています。そうならない場合は、高金利による住宅投資の低迷等、実体経済のマイナスが避けられず、トランプ政権として受け入れがたいのではないのでしょうか。

円金利は、利上げ織込みがさらに進行しました。9月の日銀金融政策決定会合での利上げは想定通りでしたが、欧米における利上げ期待の高まりの影響を受けました。一方で、長期・超長期債の金利上昇幅は限定的でした。市場ではGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が円債比率を高めることが意識されています。

為替に関してもGPIFの円資産への回帰が意識され、小幅に円高になりました。実需面からの円安圧力の強さは継続しているものの、日米政府による円安修正圧力が意識され悩ましい局面になっています。我々は、円高への急速な転換にはなりにくいと考えており、為替リスクを甘受しつつ、外国債券の高い利回りを享受するのが望ましいとの考えは変えておりません。

どうぞよろしくお願いいたします。

(9月30日)



ひふみグローバル債券
マザーファンド
運用責任者
福室 光生

ひふみアカデミー(月次運用報告会)のご案内

毎月、運用についてご報告するとともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明している「ひふみアカデミー」。運用メンバーより、動画配信にてご報告しております。

運用状況の他、経済環境や株式市場、経済見通しを知りたい方にもおすすめのセミナーです。

YouTube動画セミナー「ひふみアカデミー」

https://www.youtube.com/playlist?list=PLkwGm3S_gh8S2ze4qSie9yAjrJidz3_7t



運用責任者よりお客様へ：ひふみ投信マザーファンド

2026年9月の日本株式市場は、日経平均株価が前月末比+0.67%と底堅く推移した一方、TOPIX(配当込み)は-0.27%と小幅に下落しました。ひふみ投信マザーファンドのパフォーマンスは-1.19%となり、TOPIX(配当込み)に劣後しました。月前半は、中東情勢の悪化による原油高や世界的な金利上昇を背景に、これまで市場を牽引してきたAI・半導体関連株が調整する場面がみられました。また、AI開発投資の減速に対する懸念も重なり、関連銘柄の値動きが大きくなる展開となりました。一方、月後半にかけては、米国半導体株の上昇を受けてAI・半導体関連株が持ち直したほか、金融株やこれまで出遅れていた銘柄にも物色が向かうなど、相場の主役が目まぐるしく入れ替わる1か月となりました。

こうした市場環境のなか、当ファンドでは、AI関連企業や半導体製造装置メーカーへの投資を継続する一方、個々の企業の事業環境や成長性、株価水準を改めて見極めながら、保有銘柄の入れ替えを進めました。AI・半導体関連においても、すべての銘柄を一律に保有するのではなく、企業ごとの競争力や中長期的な利益成長の確度を見ながら、売却・買い増しを行ないました。また、エネルギー、金融、機械、素材などにも投資を広げ、特定の業種やテーマに過度に依存しないポートフォリオの構築を進めています。相場の変動が大きい局面だからこそ、業種やテーマの方向性だけで判断するのではなく、個々の企業の成長余地を丁寧に見極めることを意識しています。

9月は、こうした個別銘柄の選択や入れ替えが、必ずしも株価上昇という形で十分に評価されるには至りませんでした。一方、私たちは短期的な株価の値動きだけで投資先企業を評価するのではなく、その企業が今後どれだけ利益を成長させることができるのか、そしてその成長を支える競争力や事業基盤を有しているのかを重視しています。

7月以降、AI・半導体関連株の値動きが大きくなるなかで、当ファンドではポートフォリオのバランスを意識しながら、さまざまな分野の企業について調査・投資を進めてきました。今回の相場変動を通じて、企業の業績や事業の実力と株価の評価が、必ずしも短期的に一致するわけではないことを改めて認識しています。引き続き、市場環境の変化を柔軟に捉えながら、足元の株価だけではなく、中長期的な企業価値の向上が期待できる企業を丁寧に見極め、投資先の選択とポートフォリオの構築に努めてまいります。

(10月1日)



ひふみ投信マザーファンド
運用責任者
内藤 誠



ひふみ投信マザーファンド
共同運用責任者
大原 健司

※個別銘柄を推奨するものではありません。当資料のコメント等は、発行時点での当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものでもありません。

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

運用責任者よりお客様へ：ひふみワールドマザーファンド

2026年9月の米国株式市場は、テクノロジー株の上昇に牽引されナスダックは上昇しましたが、米国債利回りの上昇が重石となり、NYダウ、S&P500は下落しました。連邦準備制度理事会(FRB)は9月15～16日に開催された連邦公開市場委員会(FOMC)にて、フェデラルファンド(FF)金利誘導目標を全会一致で2023年7月ぶりに0.25%ポイント引き上げ、3.75%～4.00%にすることを決定しました。ウォーシュFRB議長は物価上昇率が依然として高止まりしていることから追加利上げを仄めかしており、米国10年債利回りは月末時点で2007年6月中旬以来の水準にまで上昇しました。その一方で、OpenAIの「GPT-6 Astra」など新AIモデルのローンチや、メタ・プラットフォームズは世界初の個人向けAIエージェント「Muse」を発表しており、AIサービスの普及拡大期待がテクノロジー株にとって追い風となりました。

2026年9月の投資行動については、金利上昇の影響を受け、データセンターや不動産投資の減速の影響を受けると考えられるアドバンスト・マイクロ・デバイセズなど半導体やシチズンズ・ファイナンシャル・グループなど地銀を一部売却しました。一方、投資減速によりキャッシュフローが改善すると考えられるほか割安感の高まっているマイクロソフトなどソフトウェア、長期金利上昇による業績改善が期待されるメットライフなど生命保険を買い増しました。

「Shrink」という言葉が、米国の小売企業とのミーティングでは頻繁に話題になります。定義上は、在庫の何らかの理由による喪失によって、帳簿上の在庫と、実際の在庫に齟齬が発生してしまっていることを指します。要するに何のことかという、万引きや従業員による窃盗です。日本でも万引きや従業員による在庫の窃盗がないわけではありませんが、特に大手企業のIR対話では議論にはなりませんし、業績に影響を与えている状況にはありません。しかし、アメリカではこの単語がIR対話では頻繁に話題になるほど、業績への影響は軽微とは言えない水準です。Form 10-Kなどの開示資料にも影響を記載する企業は小売業を中心に多く存在します。ひふみワールドマザーファンドは「世界にあふれるビックリ!をみつけにいこう」をテーマに、日本では知られていないユニークな銘柄、業態の発掘を心がけていますが、銘柄、業態ではありませんがこの「Shrink」にまつわる話題もまさしく「世界のびっくり」ではないでしょうか。

(10月1日)



ひふみワールドマザーファンド
運用責任者
湯浅 光裕

※個別銘柄を推奨するものではありません。当資料のコメント等は、発行時点での当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものでもありません。

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

主要国株価・高値もみ合い、業績好調と金利高の綱引き 中東・油価とAI需要が2大焦点、日米欧・年内追加利上げへ



運用本部
経済調査室長
三宅一弘

日米欧の主要株価指数は夏場以降、最高値圏でもみ合い展開が続いています。景気・業績の拡大(株高支援要因)と、インフレ懸念・金利高(株安要因)が綱引きする構図とみられます。世界株の先行きを占う上で、こうした好悪要因が先行きどうなるのかが焦点になると推察されます。

金融政策面では、日米欧(ユーロ圏)の9月会合で、3極同時利上げとなりました。世界的な共通要因として、イラン戦争に伴う原油高がインフレ懸念を、力強いAI需要(AIブーム)が景気押し上げ(+インフレ懸念)をもたらしています。日米欧の金融政策会合は年内10月と12月の2回ですが、賃金上昇率やコアCPIが総じて安定推移していることから、市場は10月据置き、12月会合での利上げを有力視しています。日米欧の10年国債利回りは上昇基調に拍車がかかっていますが、主因はインフレ懸念に加えて、AIブーム、財政悪化懸念などが重なっているとみられます。金利急騰のピークアウトには、中東情勢・油価の沈静化、物価指標の減速(CPI2%へ安定的な収束)がカギになると考えられます。

日米欧の景気や企業収益は好調が持続しています。コロナ禍以降、企業がレイオフを抑制したことも一因に、日米欧の失業率は歴史的な低水準にあり、堅調な雇用・所得環境を支えています。さらにAI&半導体ブームの中で、企業は投資拡大など積極行動を鮮明にしています。企業収益はEPS増益率(FactSetアナリストコンセンサス予想)の上方修正基調が続いており、米S&P500が26年+34%、TOPIXが同+24%、STOXX欧州600が同+21%と好調持続です。

イラン戦争は、大規模な直接武力衝突が9月10日頃から中断し、膠着状態です。米国は対イラン制裁強化(イランと取引する第三国の銀行・企業までドル決済網から締め出す二次制裁の本格化)を打ち出し、トランプ大統領は中間選挙(11月3日)の後、攻撃再開の可能性に言及しています。一方、イランは9月下旬に7日間でホルムズ海峡を再開する案を提示(米国は拒否)しました。具体的な停戦交渉の動きが出てきていると評価されます。ホルムズ海峡は封鎖が続いていますが、代替ルートを含めた中東産の原油供給が戦争前の8割前後まで回復しています(原油・LNG版のリアルタイム物流統計会社のKpler推計)。原油市況はホルムズを核に中東情勢に一喜一憂する乱高下の展開になっていますが、やや長めで見ると、低位方向の可能性が高いとみます。

米国の中間選挙の結果は、財政、長期金利、規制緩和やエネルギー、防衛など強国政策、イラン戦争などの行方に大きな影響を与えそうです。大別すると、①上下両院で共和党勝利、②同民主党勝利、③上下院で多数派が分かれるの3シナリオで整理すると、①は現状と同じトリプルレッド(共和党統一政府)で、トランプ強国政策が維持される一方、財政赤字の拡大、長期金利上昇観測が強まりそうです。トランプ配当(米国の成人市民1人につき5,000ドル支給)に関しても現実味が出てきます。米国株は景気・業績拡大期待が金利上昇懸念を上回るのかが焦点になりそうです。②の民主党勝利は、トランプ政権の新規減税・歳出拡大が難しくなり、長期金利の上昇圧力が弱まる可能性が高そうです。株価にとって金利低下となればポジティブですが、政治的には大統領と民主党議会の対立が激化し、政治的なリスクイベントが増えそうです(株価には悪材料)。③のねじれは、大規模な新政策は成立が難しくなり、政策面での方向性が出にくいとみられます。極端な政策の回避は米国株にとって安心材料としてポジティブに評価される可能性がありそうです。

米国株など主要国株価は当面、①景気・企業業績の堅調と、②油価上昇やインフレ懸念、金利上昇の強弱要因が拮抗し、高値もみ合いが続くそうです。米国の中間選挙(11月3日)の結果、財政赤字、長期金利、イラン戦争などがどう変わるのか、それによって保合(もちあい)放れに動き出す可能性がありそうです。また、選挙を通過して政策不確実性が下がることは株価にポジティブに作用すると推察されます。

(10月2日)

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

秋になり旅の季節となりました。皆さんが今まで行った中で、もう一度行きたい旅先はありますか？



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役社長
最高投資責任者
シニア・ファンドマネー
ジャー

最初の訪問から30年経っているニースにもう一度行ってみようと思っています。



Ito Tsubasa
伊藤 翼
アナリスト

大学の卒業旅行で行ったロサンゼルスですね。初めての海外だったこともあり、強く印象に残っています。ただ、やはり初めて訪れる土地では新しい発見が多いと思いますので、今後も色んなところに行って、私も「世界にあふれるビックリ！」を見つけていきたいと思っています。



Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・ファンドマネー
ジャー

ノープランで八重山諸島。



Ohara Kenji
大原 健司
シニア・ファンドマネー
ジャー

ミュンヘンのオクトーバーフェストで騒いだ後はリスボンでまったりして、クリスマスシーズンに備えたいですね。



Kaku Miki
郭 美綺
アナリスト

社会人1年目に訪れたフランスのボルドーです。現地でワイナリーを巡りました。ワインそのものの美味しさはもちろんですが、ワインはその土地の風土や食、文化、人々を知る手段でもあり、ワインを好きになったきっかけでした。また、町のレストランのテラス席で、人々がワインを片手に美味しい食事を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごしている光景も好きです。



Kubo Tomohiko
久保 智彦
シニア・アナリスト

四川省の成都で食べた中華料理はまた味わいたいです。昼に食べたコース料理は何の料理だったのかよく分からないものも多かったのですが、どれも最高においしく印象に残っています。夜は本場の火鍋に挑戦しましたが、あまりに辛すぎて、お子様用のスープにしてもらいました。

※個別銘柄を推奨するものではありません。当資料のコメント等は、発行時点での当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものでもありません。

※後述の「当資料のご留意点」を必ずご覧ください。

運用メンバーからのメッセージ



Zhou Huan
周 欽
シニア・アナリスト

家族はみんな海が好きだから沖縄と東南アジアの島は何回行っても飽きない旅先です(飛行距離も負担なし)。



Sugino Ryosuke
杉野 僚祐
アナリスト

グランドキャニオンです。ラスベガスから車で5時間かけて行きました。その時は上から眺めるだけだったんですが、次は下まで降りて見上げてみたいです。青空を。



Senoh Masanao
妹尾 昌直
運用本部長
シニア・アナリスト

もう体力的に厳しいですがイグアスの滝やウユニ塩湖でしょうか。まだまだ体力のあった30代に行っておいてよかったです。



Takahashi Ryo
高橋 亮
運用副本部長
海外株式戦略部長
シニア・ファンドマネージャー

北海道の釧網本線の北浜駅から眺めた流氷です。30年前の流氷シーズンは外国人観光客もおらず、とても静かでした。もうあの静かな海岸は二度と経験することはないでしょうね。



Naito Makoto
内藤 誠
国内株式戦略部長
シニア・ファンドマネージャー

スペインのアンダルシアやバスク地方に行ってみたいです。食や景色もよいですが、独自の文化に触れてみたい地域です。



Nagashima Yutaro
永島 優太郎
アナリスト

オーストラリアですかね。無難ですがグレートバリアリーフやウルルをみたいなど。



Namiki Koji
並木 浩二
小型株式戦略部長
シニア・ファンドマネージャー

また行きたい旅先は数多いですが、せっくなので行ったことのないところを選びたいです。今まで行ったなかで強いて挙げるなら、天候に恵まれずオーロラを見れなかったので、北極圏のどこか。

運用メンバーからのメッセージ



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
マーケットエコノミスト
兼ファンドマネージャー

城巡りで越後～越中～能登～加賀～越前を周遊したのがよかったです。冬だったのでより一層北陸を感じられました。



Fukumuro Mitsuo
福室 光生
債券戦略部長
シニア・ファンドマネージャー

十和田湖です。ボートか遊覧船でめぐる景色がワールドクラスです。近くにあるキリストの墓にもまた行きたいです。



Hong Minh
洪 民鎬
アナリスト

中国ですね。国土が広く歴史も長い観光資源豊富な国で、技術も非常に進んでいる国にも関わらず安い値段で行けるので、行ける間に行っておきたいです。



Matsumoto Ryoga
松本 凌佳
シニア・ファンドマネージャー

千葉のサウナ施設に行きたいです。オーシャンビューも楽しめる非常によい施設でした。大阪に行って、たこ焼きや串揚げをたらふく食べたい気持ちもあります。



Mizuse Kiminobu
水瀬 公脩
アナリスト

大東島。断崖絶壁すぎて船を着けられないのでクレーンで吊り上げてもらって上陸するのですがロマンを感じますよね。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
経済調査室長
シニア・マーケットエコノミスト

80年代後半のバブル期に会社のご褒美団の一員に入れてもらい米国に行ったのが海外出張の最初でした。NYやワシントン、シカゴのほか、マイアミやセントルイスなどを回りました。当時、「危ないので夜、絶対に1人で外出するな」と言われたのが懐かしい。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
シニア・ファンドマネージャー

コロナ以前ですが、当社のファンドをお取り扱いいただいている全国各地のパートナー金融機関様へよく伺っていました。対面でお客様や行員さんとお話しさせていただくのは、とてもやりがいがありました。また皆さんにお目にかかれたらとてもうれしいです。

まるごとひふみの特色

まるごとひふみ15、まるごとひふみ50

投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

まるごとひふみ100

投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

1. 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。

まるごとひふみ15、まるごとひふみ50

実質的に株式と債券に分散投資を行なうことで、基準価額の変動幅をおさえ、信託財産の中長期的な成長を目指します。

まるごとひふみ100

実質的に国内株式と海外株式に分散投資を行なうことで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

2. 資産配分比率が一定の比率となることを目指して運用を行ないます。

資産の実質的な保有比率が概ね以下の比率となるように、投資対象ファンド(ひふみ投信マザーファンド、ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)、ひふみグローバル債券マザーファンド)の基本配分比率を調整します。

まるごとひふみ15 原則、株式約15%、債券約85%

まるごとひふみ50 原則、株式約50%、債券約50%

まるごとひふみ100 原則、株式約100% ※まるごとひふみ100は、ひふみグローバル債券マザーファンドには投資を行ないません。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式や債券など値動きのある証券(外国の証券には為替変動リスクもあります。)に投資いたしますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様(受益者)に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、投資対象とする投資信託証券においては組入有価証券を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	投資対象とする投資信託証券において外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場に 関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場(新興国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

■ お申込メモ

商品分類	まるごとひふみ15、まるごとひふみ50 追加型投信／内外／資産複合 まるごとひふみ100 追加型投信／内外／株式
設定日	2021年3月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年4月15日(休業日の場合、翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行ないます。
購入単位	販売会社が定める単位となります。なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。
換金(解約)単位	販売会社が定める単位となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から、販売会社の本・支店等においてお支払いいたします。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、原則として毎営業日の午後3時30分までに受け付けたものを当日のお申込みとします。(申込受付不可日は除きます。)ただし、販売会社によって受付時間が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

■ 当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等をすることや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

■ お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用

申込手数料：**3.30%(税抜3.00%)を上限**として、販売会社が定める料率とします。

「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。

信託財産留保額：ありません。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	信託財産の日々の純資産総額に対して下記に記載の信託報酬率を乗じて得た額 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。 日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドの信託財産から支払われます。				
	運用管理費用の配分				
運用管理費用 (信託報酬)			まるごとひふみ15	まるごとひふみ50	まるごとひふみ100
	信託報酬率		年率0.660% (税抜年率0.600%)	年率0.935% (税抜年率0.850%)	年率1.320% (税抜年率1.200%)
	支払先 (税抜) の配分	委託会社	年率0.290%	年率0.415%	年率0.590%
		販売会社	年率0.290%	年率0.415%	年率0.590%
受託会社		年率0.020%	年率0.020%	年率0.020%	
	※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。				
投資対象と する投資 信託証券	投資対象ファンドにおける運用管理費用 純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額				
			まるごとひふみ15	まるごとひふみ50	まるごとひふみ100
	ひふみワールドファンドFOFs用 (適格機関投資家専用)		年率0.00264% (税抜年率0.00240%)	年率0.0088% (税抜年率0.0080%)	年率0.0176% (税抜年率0.0160%)
	※上記は投資対象ファンドを基本の組入比率に従って組み入れた場合の運用管理費用(信託報酬)です。この値は目安であり実際の組入状況により変動します。 ※「ひふみ投信マザーファンド」「ひふみグローバル債券マザーファンド」は、運用管理費用(信託報酬)がかかりません。				
実質的な 負担	純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額				
	まるごとひふみ15		まるごとひふみ50		まるごとひふみ100
	年率0.66264%程度 (税抜年率0.60240%程度)		年率0.9438%程度 (税抜年率0.8580%程度)		年率1.3376%程度 (税抜年率1.2160%程度)
	※基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用(信託報酬)を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。				
その他費用・ 手数料	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用(監査費用)およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。				
	監査費用は日々計算されて毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。				

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

■ ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会 一般社団法人資産運用業協会

受託会社：三井住友信託銀行株式会社

販売会社：後述の「販売会社」でご確認いただけます

■ 当ファンドや販売会社についての照会先



RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社

※2026年12月1日付でSBIレオス・キャピタルワークス株式会社へ社名を変更します。

電話：03-6266-0129 受付時間：営業日の9時～17時

ウェブサイト：<https://www.rheos.jp/>

販売会社(銀行)

2026年10月15日時点

※お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行 ^{*1}	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○		○	
株式会社荘内銀行 ^{*1}	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○			
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第40号	○			
株式会社八十二長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社北都銀行 ^{*1}	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○

*1 新規の購入申込みは受け付けておりません。

販売会社(銀行)

2026年10月15日時点

※お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ50

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行 ^{*1}	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○		○	
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社荘内銀行 ^{*1}	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○			
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第40号	○			
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第57号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社北都銀行 ^{*1}	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○

*1 新規の購入申込みは受け付けておりません。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○			
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第16号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○

販売会社(証券会社・その他金融機関)

2026年10月15日時点

※お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券 ^{*2}	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○		○	○
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○	○	○	
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3186号	○			
大和証券株式会社 ^{*2}	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社 ^{*2}	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

*2 一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

まるごとひふみ50

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券 ^{*2}	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○		○	○
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○	○	○	
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3186号	○			
大和証券株式会社 ^{*2}	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社 ^{*2}	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

*2 一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

販売会社(証券会社・その他金融機関)

2026年10月15日時点

※お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券 ^{*2}	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第8号	○		○	
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第19号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○		○	○
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○	○	○	
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3186号	○			
大和証券株式会社 ^{*2}	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
長野證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第125号	○	○		
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社 ^{*2}	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

*2 一般社団法人日本STO協会にも加入しております。